

# 平成 23 年度 第 4 回市政インターネットモニター調査結果

## 「市民協働」についてのアンケート

■アンケート実施期間 平成 24 年 2 月 15 日(水曜日)～平成 24 年 2 月 29 日(水曜日)

■回答率 79.4%(27 人/34 人中)

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
男	1	6	2	2	2	2
女	4	4	4	0	0	0
計	5	10	6	2	2	2

### ■調査の趣旨

北名古屋市では、地方分権時代にふさわしい自治体として、社会環境の変化に柔軟かつ的確に対応し、地域特性に見合った独自性のあるまちづくりを行うために、市民と行政が相互に協力する協働のまちづくりに取り組んでいます。今回、市民協働のまちづくりを推進するためにお尋ねします。

※市民協働とは、行政・市民・自治会・市民活動団体・事業者などが、信頼関係のもと、地域社会の将来に向けての課題を共有し、その課題解決のために、協力して行動すること。

### ■アンケート調査結果

#### 問 1 市民協働に対する興味や関心についてお聞きます。

選択項目	回答数	
非常に興味・関心がある	7	<p>非常にある 26%</p> <p>全くない 7%</p> <p>あまりない 11%</p> <p>ある程度ある 56%</p>
ある程度興味・関心がある	15	
あまり興味・関心がない	3	
全く興味・関心がない	2	

#### 問 2 市民協働はこれからのまちづくりに必要だと思いますか。

選択項目	回答数	
必要	13	<p>よくわからない 15%</p> <p>必要 48%</p> <p>どちらかといえば必要 37%</p>
どちらかといえば必要	10	
どちらかといえば不要	0	
不要	0	
よくわからない	4	

### 問3 問2の理由を教えてください。

#### ○必要

- ・ 市民が本当に望む地域社会を実現していくためには、どうしても必要になると思います。
- ・ 市民・自治会・事業者等協力のもと北名古屋市のまちづくりが変化すると思う。
- ・ 行政だけでは実現できないことや、長時間(長期間)を必要とする事項があると思われるので民間の協力は不可欠かと。また、反対に民間だけでは実現不可能な事項もあるので。
- ・ 市の将来性についての議論は大切だと思う。
- ・ まちを良くしたいという共通目標のために、それぞれの役割(できること)を連携して発揮すべきだと考えるから。市民を目、行政を手足と仮定するならば、どちらが欠けても目標には近づけないと感じる。まずは、目も手足も同じ方向を向いているか確認し、時には互いに労って、その役を支援したり交代したりできる様な意識の共有があると良いと思う。
- ・ 市と民が協力することは大切である。
- ・ 当市の場合は、まず市民・市民活動団体等が行政に対し、課題を提出し行政が参画するスタイルになのでは？行政主導のまちづくりはあってはならない。
- ・ 一部の人で街づくりするより、よりたくさんの方の意見を集約した方が、市民が満足できる市民生活を送ることができる。町づくりから恩恵を受け、多く人がその責務を感じることもなると思います。みんなの街をみんなの力で作り上げると言うことだと思います。
- ・ まちに住んでいる人が責任を持って、どうすればよいのかを考え、行動することは至極当たり前のこと。
- ・ 市の財政状況が悪化するなか、市政運営のために市の職員の増加は考えられず、その分市民が市政運営等に参加し、不足する分を補わなければ市の存続ができなくなると考えられる。
- ・ 今の世の中はこれまでの仕組みでは立ち行かない局面に差し掛かっており、大きく転換しなければならぬと感じているからです。
- ・ 住みやすい街づくりには、専門分野の垣根を越えた協力が必要だと思うので。
- ・ 人と人との絆が大事である。

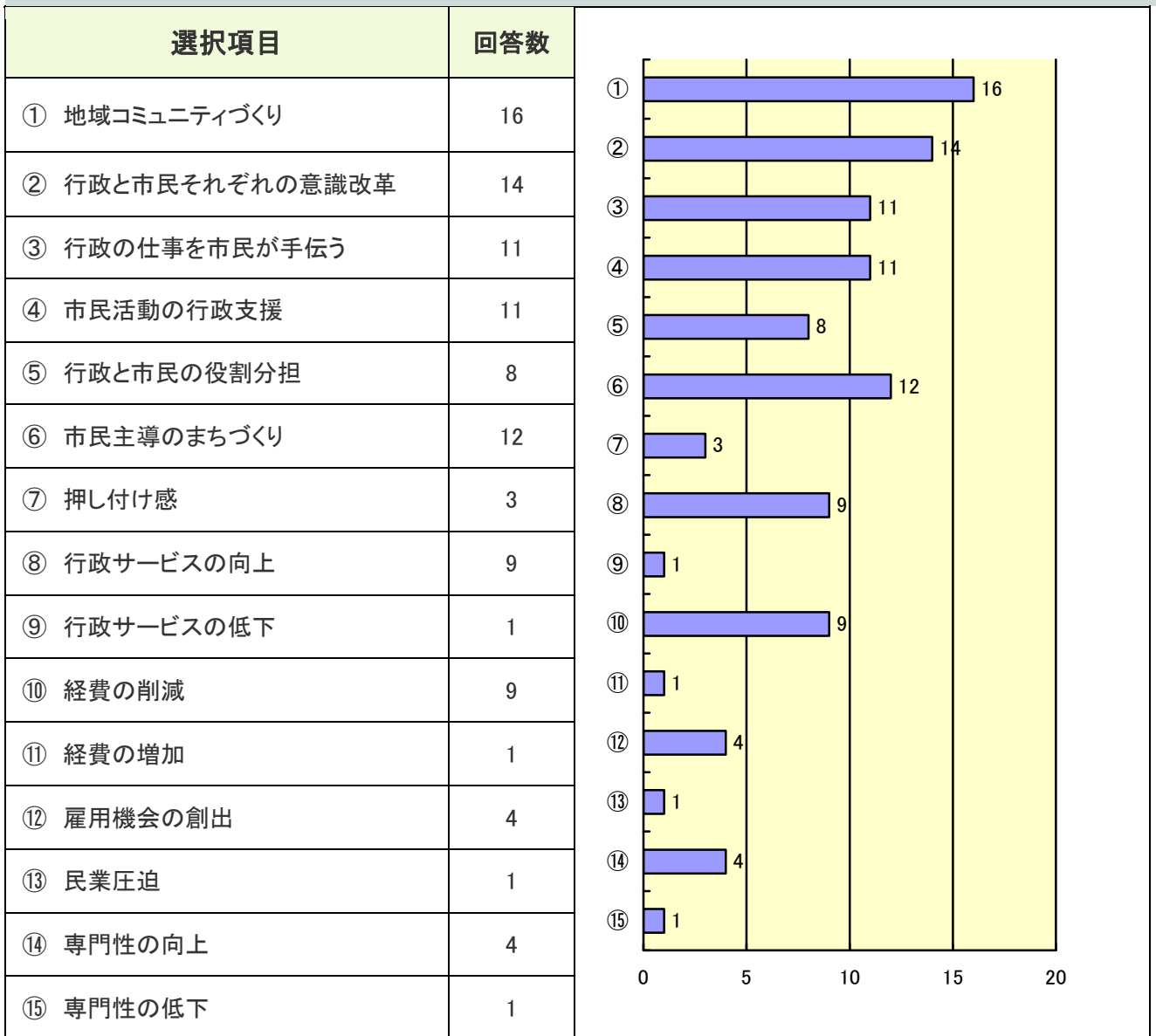
#### ○どちらかといえば必要

- ・ 一部の行政だけで今後のまちづくりについて考えても偏りがあるに決まっているし、協議が必要な点にも気づけない可能性があるとおもいます。
- ・ 地域活動が活発になり、明るくなる。
- ・ 街の発展に市民と行政の協力は不可欠だと思うから。
- ・ 地域環境を整えるには、そこに各団体の利益が反映されるべきだと思うので。
- ・ 二つの町が、まだまだ一つになりきれない。役所を統一すればもっとスムーズになるのではないかな。
- ・ 行政だけでは頼りないから。
- ・ どのようなまちでも、行政と市民が一緒になってまちづくりを行うことが大切だと思うから。
- ・ 市民が直接関わることで、市政への興味や関心などが高まるとされるから(必要)。市民側、行政側間での境目が難しいと思われる(必要と思われるが問題も多々ある気がする)から。
- ・ 必要性は感じてはいるが、実際に何ができるのかは全くイメージがわからない。

#### ○よくわからない

- ・ 実際に、何を活動しているか把握していない。
- ・ 具体的な意味がわかりにくい。

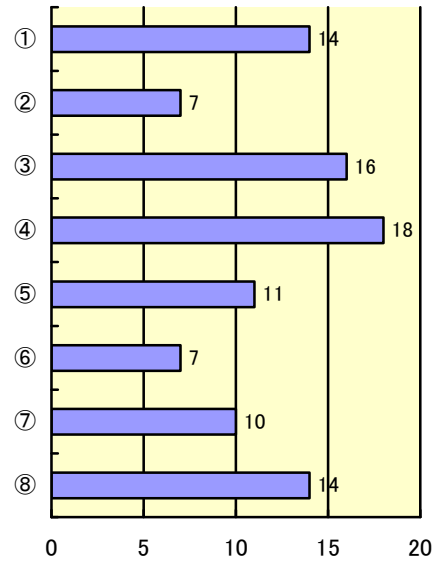
問 4 市民協働という言葉から連想することを選択してください。(複数回答可)



大多数の方が「市民協働」に関心があり、これからのまちづくりに必要だと考えているようです。市民協働について、「地域のコミュニティづくり」や「意識改革」「市民主導のまちづくり」という好意的なイメージを持っている方が多い反面、「押し付け感」など、負のイメージを抱いている方もいました。

**問5 市民や市民活動団体と、行政との協働を進めていくためには、行政はどのような条件整備を行う必要があると考えますか。またその理由をお聞かせください(複数回答可)**

選択項目	回答数
① 地域コミュニティづくり	14
② 補助金、基金等による支援	7
③ 市民提案型の事業の実施	16
④ 活動情報の発信、広報	18
⑤ 団体同士の交流、情報交換	11
⑥ 活動の拠点や場所の整備	7
⑦ セミナー・相談など活動活性化のための情報提供	10
⑧ 市民活動に関する行政職員の意識や知識の向上	14



**理由**

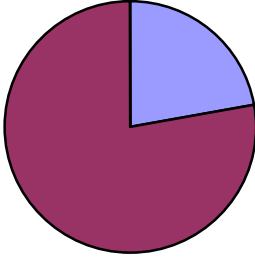
- ・ どれも必要になってくると思いますが、他の地域の成功例、課題などを例に説明会などを開催し、まずは協働について知る機会を作ってもらいたいと思います。(①③④⑥⑧)
- ・ 新たに力を入れるべきだと感じるもののみを選択した。「市民活動に関する行政職員の意識や知識の向上」を選択したのは、市民活動団体に行政職員が一市民として参加することで、活動への理解・協力が進むと考えるから。ただし、親近感から癒着にならないよう注意すべきである。また、参加は自発的であるべきなので、行政としては強制しないが活動への参加がしやすい環境(活動参加日の残業を減らすなど)を整えると良い。(⑧)
- ・ 市民が活動を継続して行える事を優先に進めてほしい。(①②③④⑤⑥)
- ・ 嘱託職員を増加し、早期に実態把握に努める。(②③④⑤⑥⑧)
- ・ 社会に市民協働という概念が浸透していないと思うので。(④⑤⑧)
- ・ 岩倉市のように月2回の広報発行はどうかと思うが、もっと市民参加の活動が必要。(①③④⑦⑧)
- ・ そもそも行政とは、はっきり定義づけて説明できません。わたしなりに解釈しますと、行政と協働を進めるとは、みんながともに政治に関心を持ち町づくりの仕組みをつくり上げると言うことでしょうか？(⑤⑦)
- ・ 市の将来についての危機感を職員、議員、市民が共有し、難局を打開していかなければならない。このためには、市の現在および将来の財政状況等を詳しく情報提供する必要がある。(①③④⑤⑥⑧)
- ・ 行政、市民双方の情報交換が必要だと思うので。(③④⑦)

積極的な情報発信が必要だという回答が多く寄せられました。また、市民のみなさんへの情報提供だけでなく、職員も意識向上すべきという意見がありました。

**問 6 従来行政が行ってきた業務で、協働で取り組むことが可能または有効だと考える業務があればお書きください。**

- ・ 意見ではなく質問となってしまいますが、健康ドームなどの公共施設は、どれくらい市民の声を取り入れて造られているのでしょうか？
- ・ 災害、防災活動の支援。
- ・ 正直申しまして、行政が今まで行われてきた業務が伝わってきません。きっと広報やホームページに掲載されているかと思いますが、伝えかたにもう少し工夫してほしいです。
- ・ 図書館が市内にどのような団体や活動者がいるのかを把握(時には活動に参加)して、その活動に関連ある蔵書を揃えると共に関連資料の到着案内を知らせるサービスを行う(SDI:選択的情報提供、コンテンツサービス)。それに応じて団体や活動者も需要情報を提供する等の発展を望む。
- ・ わからない。
- ・ 市役所内だけで行っている各種証明書発行等の業務を、各地区でも取得できるようにすれば、身体が不自由な人にも便利になる。
- ・ 思いつきません。平成 25 年度か 26 年度を目途に、過去の取り組みを洗い出し、検討委員会の設立等はいかがでしょうか？
- ・ 有効だが意味のないものも多いと思う。
- ・ スポーツ、文化の行事を決めることは可能だと思います。
- ・ 地域の防犯、治安、モラル等の活動。子供の見守り活動。環境美化および環境整備活動。高齢者を対象とした活動。
- ・ そうじなど。
- ・ 何をおこなってきたかがわからない。

**問 7 まちづくりに向けた活動をする団体に参加していますか。**

選択項目	回答数	
参加している	6	 <p>参加している 22%</p> <p>これから参加したい 78%</p>
これから参加したい	27	
参加したくない	0	

**参加している、または参加したい分野**

**1 地域の美化活動、清掃活動 4票**

- ・ 自分の力を市の為に役立てたいから。
- ・ 自分にもできそうなので。

## 2 自然環境の保全 1票

## 3 子どもの見守り活動(登下校の見守り、パトロール等) 3票

- ・ こどもに関する活動であれば関心がある。

## 4 地域の防犯・治安、モラルの向上 4票

- ・ 地域の防犯・治安、モラルの向上。個人レベルでは難しいと感じますので、参加してみたいと思います。

## 5 高齢者を対象とした活動(見守り、話し相手等) 5票

- ・ 高齢者を対象とした活動をしたいと思います。私は団体などには所属していませんが、シニア向けの PC 家庭教師をしているため。
- ・ 高齢者を対象とした活動&参加、及び地域の合唱団活動に参加することにより多くの人々との輪を拡げたい。この活動と参加が自分磨きになり、喜びを感じている。

## 6 地域活動への参加促進に向けた取り組み 2票

- ・ パソコン関連の支援、映像(市、団体などの記録、PR 映像)作成支援など。
- ・ 専門知識を生かした講座やセミナーの講師など。

## 7 イベント・レクリエーション活動等への参加 5票

- ・ 子供会・町内会を通じてのイベント・レクリエーション活動等への参加。
- ・ 参加したくなるような、意味のある活動があれば参加したい。

## 8 農業振興に関する活動 0票

## 9 文化保全活動 2票

- ・ 文化に関心があるので。

## 10 その他

- ・ 街づくり勉強会(徳重駅周辺):県道拡幅が一刻も早く実現してほしいと考えたから。防犯に関する活動:ワースト都市のイメージを払しょくしたいと考えている。遊歩道整備に関する活動:いつになったら実現するかわからない「健康・快適都市」を目指す本市に対して、少しでも前進できればと考える。
- ・ 専門知識を生かした講座やセミナーの講師など

全員の方が参加している、またはこれから参加したいと回答されました。分野としては、イベント・レクリエーション活動への参加や、清掃活動が参加しやすいというイメージがあるようです。一方で、専門知識を活かしてまちづくりに関わりたいと考えている方もいらっしゃいました。

**問 8 地域における活動(自治会、町内会など)に参加していますか。**

選択項目	回答数	
参加している	7	<p>参加して ない 33%</p> <p>参加して いる 26%</p> <p>たまに参 加する 41%</p>
たまに参加する	11	
全く参加していない	9	

**理由**

**○参加している**

- ・ 当番で回ってきたので、組長をやっていました。参加して初めてわかる地域の係わり合いや仕組みもあるので、正直面倒くさいとおもいましたがやってみてよかったです。
- ・ 地域の人との唯一の接点だから。
- ・ 人とのふれあいが、ある。
- ・ 23年度は町内会長として、24年度は防犯委員として参加している。

**○たまに参加する**

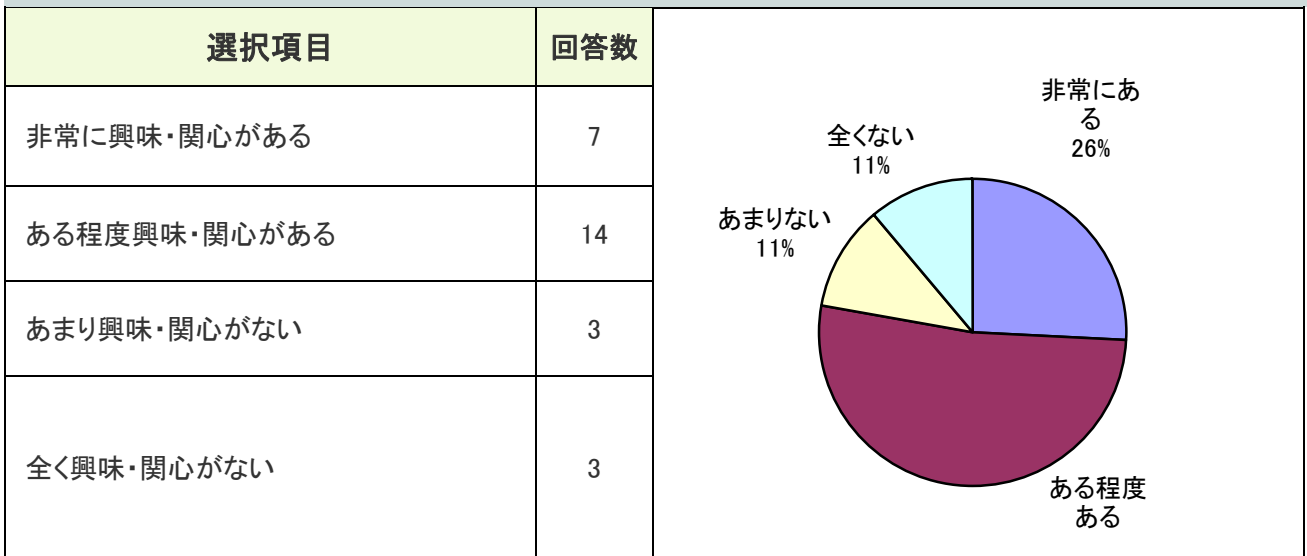
- ・ 日程が合えば、参加しています。
- ・ 今はまだ親の世代が主体となっているため。自分で世帯を持てば、情報を得て参加すると思う。
- ・ 拠点は職場である。
- ・ 地元の人々がどのような考えなのかを知りたいから。
- ・ できることをできる時に協力しようと思うので。

**○全く参加していない**

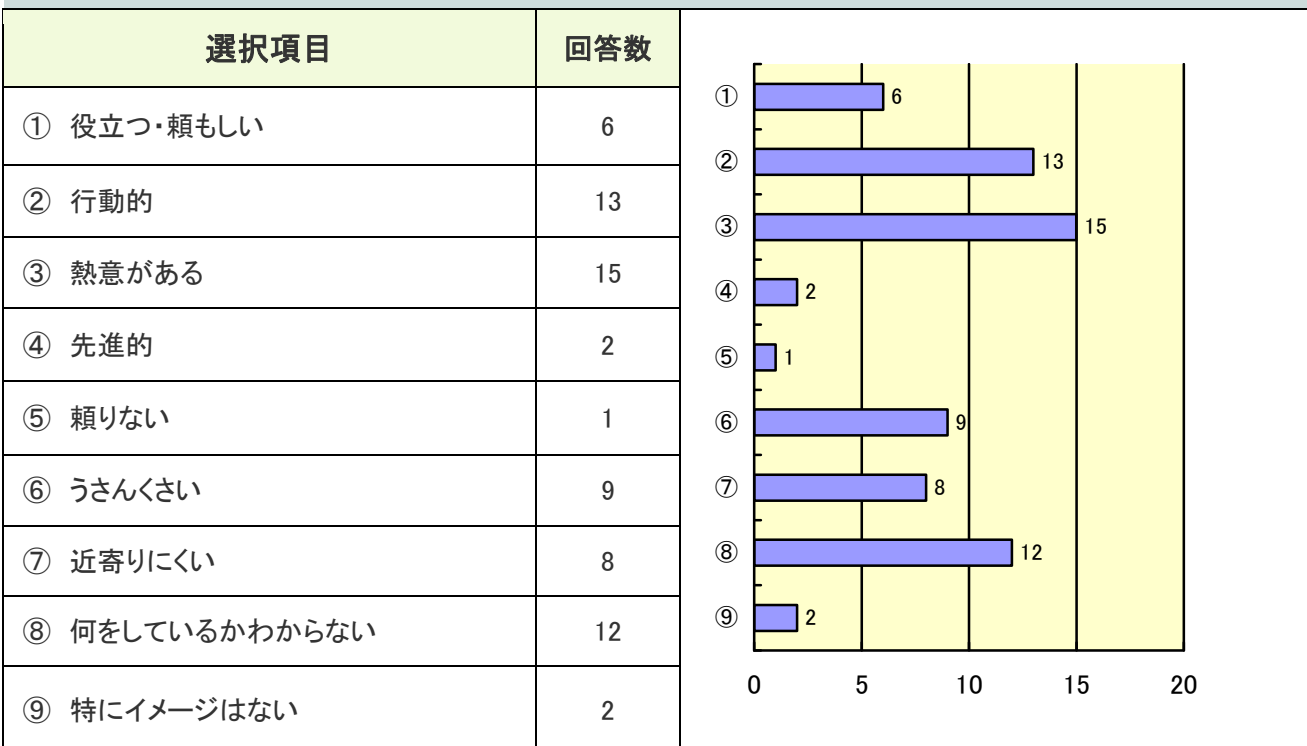
- ・ 組長しか参加していないようですので、組長がまわってくるまでは参加しないと思います。
- ・ 自分が参加できる内容かどうか不明なため。
- ・ アパートのため、自治会などの参加がありません。
- ・ 時間に余裕がないし、いつしているのかわからない。
- ・ 賃貸住宅に住んでいて、自治会などに関わりがないので。
- ・ 仕事をしている為。
- ・ 賃貸物件に住んでいるからか、そのような活動に関する情報が全く入ってこない。回覧板などもない。関心がないわけではないが、参加しようがない。

実際に活動に参加している方は、全体の3分の2程度の割合でした。仕事や、賃貸住宅に住んでいるため、自治会等の活動になかなか参加できない現状がわかりました。

問 9 NPOや市民活動団体に対する興味や関心についてお聞きします。



問 10 NPOや市民活動団体という言葉から連想することについて選択してください。(複数回答可)



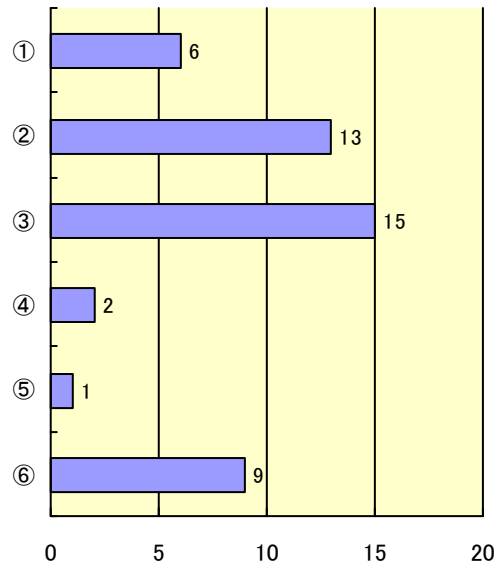
その他意見等

- ・ 寄付などの協力が必要。
- ・ 情報不足からいいイメージは持っていない。
- ・ 「必要だから立ち上げた」そんなイメージがあります。でも、みなさまのために頑張っていらっしゃる(必要とされて、しかも役立っている)のに(失礼な言い方で申し訳ありませんが正直なところ)お給料が安価という、残念なイメージもあります。実際、無給(安給)のボランティアだけでは、家族持ちには生活が苦しいのではないかと…。



問 11 NPOやボランティア団体などの市民活動団体について、どのような情報が欲しいと思いますか。(複数回答可)

選択項目	回答数
① 団体の目的	17
② 団体の活動内容	22
③ 団体の財政状況	7
④ 団体が主催するイベントの情報	19
⑤ 会員募集の有無	8
⑥ ボランティア募集の有無	8



**その他意見等**

- ・ 参加者募集とよくうたわれているが、あまり開放されていないイメージがある。団体の規模もわからず、友人数人の身内的なものなのか、かなり大規模にやっているのかも、分からないので近づきたいイメージがある。全体的に情報を公開してほしい。
- ・ どんな NPO や団体があって、どんな活動しているかは市民のほとんどの人が知らないと思う。これらの情報をいかに多くの人々に情宣できるかが課題と思っている。
- ・ 過去の活動経歴

NPOなどの市民活動団体が、「何をしているのかよくわからない」という回答を多くいただきました。知りたい情報を知る方法がわからないことが根源にあるようです。

問 12 市民協働のまちづくりについてご意見等をご記入ください。

自由意見

- ・ ずっと住み続けたいと思わせるまちを目指すには、市民協働が不可欠です。その基盤づくりに期待しています。
- ・ 北名古屋を市民と行政が協力しあい、よい街づくりになるよう期待しています。
- ・ どちらにしても経費が必要でしょうが、低予算または無償でもやるきのある団体との協働を希望します。
- ・ 共立銀行がコンビニ化したように、行政もコンビニ化できることはするべきだと思う。
- ・ 以前、市民として行政に発案した意見がすぐに実行され、更に新しいアイデアが加わっていたため、協働を実感しました。今後も気が付いたことを積極的に知らせていきたいです。
- ・ 行政が積極的に市民にはたらきかけること。
- ・ 年寄りの人が多い街なので、その年齢の方が活動できる事を考えて欲しい。
- ・ あまり分からないので答えられません。すみません。
- ・ 色々な意見・考え方があると思うが(広義ではすべて協働のまちづくり)前回のよう議員・関係者のフォーラムではなく、市民に説明する為の活動(協議会等設立により)をする。その中で、市民に理解を得て行政がNPO 法人等に協力して取り上げる必要があるのではないのでしょうか？
- ・ PRしていけばいいと思う。市民が興味をもつことを、開催する。
- ・ いるもの・いないものを多数決で決めてほしい。
- ・ 純粋なまちづくり、つまりボランティアだけでなく、多少なりとも各個人に利害関係が存在しないと、良い町を作るのは、他人のためか、いや、自分や自分の子供たちが住みよい環境で暮らせるようにするためではないかと思います。そうです街づくりは、人のためでなく自分のためなんだと思います。参画することから始まるのではと思います。
- ・ 簡潔に言うと、議会、役所、NPO 法人のとんでもない不透明さを無くすだけで、本当に良くなると思います。
- ・ これからもどんどん増える高齢者の有効活用が、市が存続できるかのキーポイントと思う。
- ・ 「市民協働」という言葉の意味はなんとなく分かるが、実際北名古屋市でどのようなことが行われているのかはまったくわからない。そもそもこのアンケートを行うのであれば、最初にある程度説明・紹介をしてほしかった。市のHPで調べてみても、抽象的なことしか書かれていない。市民活動推進課という部署が存在することも今回初めて知った。どのような業務を行っているのか、もっと公開すべき。本当に市民協働のまちづくりを進めたいのであれば、まずはもっと情報提供をして、幅広い市民からの関心を集めるべきでは。
- ・ 「市民の期待する北名古屋市の地域作りの情報」を求めようとする前に行政サイドとしてまずは検討すべきことがあるような気がする。行政として刻々変化する社会情勢に対応した施策情報は、広報紙と掲示板、HP等で発信されていますが、当市では行政と市民との接点である市議会での審議過程のライブ情報が全くなく、今の市民感覚は「どういう過程で施策が決められてきたのか、今はどうなっているのか」を理解したいのではなかろうか。IT技術の進んだ今、何故CATVとかインターネット放送とかで情報を発信して、透明な見える行政を目指し作りあげないのか不信感さえ持っている。双方の今の情報共有こそ、新しい地域づくりのエンジンになるのではなかろうか。
- ・ 広報を通して、様々な協働の紹介や募集を行えば、市民も興味を持つと思います。また、行政が頑張りすぎると(積極的にすぎると)、市民が遠慮したり、行政に任せて何もなくなる懸念もありますので、市民の自主性、自律性を支援するような行政のささやかな活動を期待します。

- ・ 一人ひとりが『できるときに、できること』という、少しの心がけや思いやりの行動から、市民協働のまちづくりが始まり、また、広がっていくのだと思います。みんなが自然と興味を持って参加していけるような【楽しい『まちづくり』への参加募集のお知らせ】をお待ちしております。
- ・ お互いに住みやすい街づくりに個々が努力することが大事である。
- ・ 実際に活動を行っている人と、行っていない人との温度差があるように感じられる。活動を行っていない方にとっては、活動や実施している団体は胡散臭いイメージがあるので今後はその部分の改善が必要ではないか？

担当課より

ご意見・ご提案ありがとうございました。

市民協働型社会を推進するためには、行政と市民がその役割と責任を担い、信頼関係を築いていく必要があります。

今後ともご意見・ご提案をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。